

鹿児島

ふれあいネットワーク

<http://www.kaken-shakyo.jp/>

ひろば



シルバー文化作品展会場風景

県社協事業から

- 平成21年度事業報告 2
- 平成21年度決算報告 3

新規事業紹介

- ふるさと雇用再生特別事業 4

地域と共に手をつなぐボランティア

- 伊佐市エコネットとおはなしミツケの活動 5

ねんりん・シルバー110番情報

- 平成21年度シルバー110番の相談状況 6

福祉施設経営相談コーナー

- 平成21年度相談実績 7

長寿社会推進部情報

- シルバー文化作品展募集案内 8

長寿社会推進部情報

- 「介護サービス情報の公表」制度を活用しましょう 9

なのはな館からのお知らせ

- 高齢者中央大学開講式 10

介護実習・普及センター情報

- 介護講座案内 10

《県共同募金会からのお知らせ》

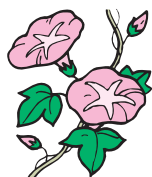
- 「ありがとうメッセージ」の紹介 11
- インフォメーション 12

事業報告・決算状況

市町村を基盤とした地域福祉の推進が図られる一方、人間関係の希薄化の進行や少子高齢社会の影響のもとでの家族像の変化、都市と地方の格差の拡大、「限界集落」の顕在化、介護福祉分野での人材確保の難しさ、そして、国・地方を通じた行財政改革の更なる進展の中で、将来にわたる持続可能な社会保障制度の再構築、福祉・介護人材の育成確保、地域福祉活動の一層の推進など、喫緊に対応しなければならぬ課題が数多くあります。これら社会保障制度や地域福祉活動を支える経済情勢をみると100年に一度と言われる世界同時金融危機・経済危機は、我が国の実態経済にも大きな影響を与え、雇用情勢にも多大な影響を及ぼしたところです。このよ

うな情勢の中、地域における福祉ニーズは量的にも質的にも多様化してきており、制度の谷間にある課題への対応も含めて、公的制度・施策に基づくサービスだけではカバーしきれない分野です。こうした基本認識のもと、地域福祉の中核的推進組織である県社協は、多様な福祉ニーズに的確に応え本県の地域福祉を推進するため、平成21年度の基本目標を次のとおり定め、また、県の新たな受託事業等も積極的に取り入れながら全力を傾注してまいりました。

なお、平成21年度の主な事業報告・決算状況は次のとおりです。



基本目標

- 1 地域福祉活動の推進
- 2 制度改正等対応市町村社協の支援
- 3 障害福祉相談体制整備特別支援事業・障害福祉人材育成研修事業の推進
- 4 ボランティア活動の促進
- 5 福祉相談活動の推進
- 6 社会福祉施設・団体の活動促進
- 7 福祉サービスの利用支援及び苦情解決の推進
- 8 介護サービス情報の公表事業の推進
- 9 福祉人材の養成・確保の推進
- 10 介護実習・普及センターの運営
- 11 生活福祉資金、離職者支援資金等貸付制度の活性化と債権管理の推進
- 12 すこやか長寿社会づくり運動の推進及びふれあいプラザ なのはな館の管理運営

事業報告

I 会務の運営並びに連絡調整等

- 1 役員会等の開催
- 2 関係機関・団体との連絡調整
- 3 自主財源の確保

II 広報活動等の推進

III 地域福祉活動の推進

- 1 地域福祉推進支援事業
- 2 県社会福祉協議会会長表彰事業の実施
- 3 ねんりん基金の設置
- 4 地域福祉推進基金の創設と事業の実施

IV 制度改正等対応市町村社協支援事業

V 障害福祉相談体制整備特別支援事業・障害福祉人材育成研修事業

VI ボランティア活動の促進

- 1 県ボランティアセンターの運営
- 2 福祉教育推進事業
- 3 養成・研修事業
- 4 広報啓発事業
- 5 市町村ボランティアセンターの活動促進

VII すこやか基金による援助活動

VIII 福祉相談活動の推進

- 1 相談センターにおける福祉相談業務の推進
- 2 福祉機器展示相談センターの運営
- 3 相談関係機関との連携及び相談体制の支援

IX 社会福祉施設・団体の活動促進

- 1 社会福祉振興資金の貸付
- 2 社会福祉経営指導事業
- 3 種別協議会の活動促進
- 4 九州地区児童福祉施設球技大会の開催

X 福祉サービスの利用支援及び苦情解決の推進

XI 介護サービス情報の公表事業の推進

- 1 指定情報公表センターの運営
- 2 調査員（養成）研修の実施

XII 福祉人材の養成・確保

- 1 社会福祉事業に従事しようとする者に対する養成等
- 2 福祉人材無料職業紹介事業
- 3 社会福祉事業従事者確保に関する支援等
- 4 福祉・介護人材確保緊急支援事業
- 5 福祉・介護人材マッチング支援事業
- 6 介護福祉士等修学資金の貸付
- 7 社会福祉事業従事者等研修
- 8 社会福祉事業従事者の福利厚生
- 9 県指定事業
- 10 教員免許介護等体験受入調整事業

XIII 介護実習・普及センターの運営

- 1 介護実習・普及センター民営事業
- 2 介護業務従事者等研修の実施

XIV 民生委員児童委員活動充実強化

XV 生活福祉資金、離職者支援資金等貸付事業の推進

- 1 生活福祉資金、長期生活支援資金、離職者支援資金、要保護世帯向け長期生活支援資金及び離職者生活支援つなぎ資金の貸付
- 2 債権管理の強化

XVI すこやか長寿社会づくり運動の推進及びふれあいプラザ なのはな館の運営

XVII 県社会福祉センターの管理・運営

XVIII 公募型雇用創出促進事業

- 1 保育所・幼稚園等における障害児保育実態調査事業
- 2 障害者就労支援促進事業
- 3 地域ジュニアふれあい体験事業
- 4 ボランティアのなかま紹介事業

平成21年度 一般会計及び特別会計資金収支決算 総括表

(単位：円)

会計区分		収入額	支出額	残 額	
I	一般会計	1,003,249,972	929,180,529	74,069,443	
II	公益事業特別会計 I	200,432,207	185,600,126	14,832,081	
III	公益事業特別会計 II	2,017,970,705	1,833,207,725	184,762,980	
IV	公益事業特別会計 III	367,310,664	367,310,664	0	
V	収益事業特別会計	15,299,479	12,824,163	2,475,316	
VI	その他の特別会計	生活福祉資金特別会計	4,421,068,202	852,058,411	3,569,009,791
		離職者支援資金特別会計	1,285,831,603	1,285,831,603	0
		要保護世帯向け不動産担保型生活資金特別会計	179,000	179,000	0
		生活福祉資金貸付事務費特別会計	63,087,042	61,735,594	1,351,448
		離職者生活支援つなぎ資金特別会計	61,703,501	19,234,126	42,469,375
合 計		9,436,132,375	5,547,161,941	3,888,970,434	

総貸借対照表

(平成22年3月31日現在)

資産の部		金 額
科 目		
流動資産		4,494,457,836
現金預金		3,524,249,841
有価証券		650,000,000
未収金		309,229,493
前払金		831,147
商品		147,355
会計単位外貸付金		10,000,000
固定資産		12,902,220,455
基本財産		350,138,423
建物		345,138,423
基本財産特定預金		5,000,000
その他の固定資産		12,552,082,032
建物		1
建物付属設備		15,221,625
車輛運搬具		430,611
器具及び備品		24,080,158
ソフトウェア		328,484
社会福祉積立金引当預金		2,684,000
社会福祉積立金引当有価証券		460,000,000
すこやか基金引当預金		44,471,258
すこやか基金引当有価証券		100,000,000
ねんりん基金引当預金		7,315,553
ねんりん基金引当有価証券		170,000,000
地域福祉推進基金引当預金		289,436
退職手当積立金引当預金		60,106,745
退職手当積立引当有価証券		100,000,000
退職共済預け金		169,307,320
修繕引当特定預金		10,000,000
退職共済積立預金		9,912,616,796
県単独事業貸付金		33,805,844
長期貸付金		37,659,000
民生委員児童委員協議会貸付金		25,000,000
徴収不能引当金		△ 18,692,675
貸倒引当金		△ 71,008,049
会員権 (施設利用権)		3,800,000
出資金		3,000,000
貸付金		989,106,925
欠員補てん積立特定預金		472,559,000
資産の部合計		17,396,678,291

負債の部		金 額
科 目		
流動負債		174,984,519
未払金		142,191,013
預り金		5,665,640
前受金		130,500
賞与引当金		16,997,366
会計単位外借入金		10,000,000
固定負債		4,967,099,254
退職給与引当金		372,112,159
交付金		4,594,808,095
特別会計借入金		179,000
負債の部合計		5,142,083,773

純資産の部		金 額
科 目		
基本金		5,000,000
1号基本金		100,000
4号基本金		4,900,000
積立金		6,804,877,693
社会福祉積立金		462,684,000
すこやか基金積立金		144,471,258
ねんりん基金積立金		177,315,553
地域福祉推進基金積立金		289,436
退職手当積立金		160,106,745
修繕積立金		10,000,000
退職共済積立預金		9,912,616,796
欠損補てん積立金		472,559,000
固定負債積立金		△ 4,594,987,095
積立金		59,822,000
基金		1,009,463,362
運用財産基金		1,009,463,362
次期繰越活動収支差額		4,435,253,463
前期繰越活動収支差額		2,401,812,113
うち当期活動収支差額		2,399,225,190
純資産の部合計		12,254,594,518

負債及び純資産の部合計	17,396,678,291
--------------------	----------------

平成21年度鹿児島県社会福祉協議会事業報告書、貸借対照表及び収支計算書は、本会において閲覧することができます。

お問い合わせ先

TEL099 (257) 3855 FAX099 (251) 6779 e-mail:soumu@kaken-shakyo.jp
社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 総務部

新規事業紹介 ～ふるさと雇用再生特別事業～



- 1 高齢者等要援護者地域生活支援総合事業
- 2 安心子育てサポートモデル事業

当会では平成22年度ふるさと雇用再生特別事業（公募型雇用創出促進事業）として県から委託を受け、高齢者等の要援護者に対する生活支援等の取り組みの推進と地域で安心して子育てができる体制づくりを行う事業を実施することになりました。

いずれの事業もモデル地域を設定すると共に職員が駐在し、地域住民の理解と協力・参加を得ながら安心して生活できる地域社会の構築を目指します。

1 高齢者等要援護者地域生活支援総合事業



地域における高齢者等の要援護者に対する支え合いの体制づくりを進め、平常時や災害時の支援活動を促進するため、「ふれあい・いきいきサロン（高齢者サロン）」活動の普及・活性化、住民座談会や支え合いマップづくり、「地域生活応援員」の養成を実施し、総合的な支援体制の構築を進めます。

県社協



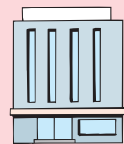
地域活動コーディネーターの設置

- ①高齢者サロン活動調査
- ②高齢者サロンの普及活性化
- ③振り込め詐欺等防止啓発活動
- ④地域生活応援員の養成研修実施

モデル社協に
地域活動推進員
を配置

- 南九州市社協
- 霧島市社協
- 天城町社協

市町村社協



- ①住民座談会の開催
- ②支え合いマップづくり指導
- ③地域の避難経路や危険箇所調査
- ④関係機関・団体との連絡調整

事業のねらい

ネットワーク体制の強化

高齢者サロンや要援護者に対する見守り活動等



既存のネットワークを活用し、新たな見守り+生活支援までの総合的な支援体制を構築



地域生活応援員

地域住民で構成し、ゴミ出しや買い物、こそくり等、要援護者の生活全般に行き渡る細やかな支援を行う。

2 安心子育てサポートモデル事業



子育て支援に元気高齢者の活用を図りながら、県内の子育てサロンの支援を図り、モデル地域においては、子育てプロデューサーの養成を行い、子育てサロンの設置推進、有償の育児支援の仕組みを作り、子育て支援のネットワークの構築を進めます。

県社協



子育て支援専門員の設置

- ①子育てサロン活動調査
- ②子育てサロンへの支援
- ③子育てプロデューサー研修の開催
- ④子育て支援ネットワーク構築支援

シルバー
コーディネーター
を配置

モデル社協に
地域子育て推進員
を配置

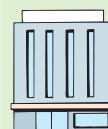
- 日置市社協
- 曽於市社協
- 湧水町社協

県老連



- ①老人クラブ会員に対し子育て協力員の募集や登録、名簿作成
- ②市町村老連との連絡調整
- ③遊び名人の発掘と名簿登録

市町村社協



- ①子育てプロデューサーの養成研修の協力
- ②子育てプロデューサーの登録
- ③子育てサポートセンターの設置
- ④子育て支援拠点づくり・支援組織立ち上げ
- ⑤子育て支援ネットワークの構築
- ⑥遊具のリサイクル等

事業のねらい



元気高齢者の活用



地域の子育て支援体制整備

《子育て支援の各種事業を実施》



子育てプロデューサーの養成研修



高齢者の活用（社会参加促進）



子育てサロン訪問実態調査



緊急時の有償育児支援の整備



子育て支援ネットワーク構築支援



子育てサロン等への活動支援

伊佐市 エコネットとおはなしミッケの活動

「環境・読書
子育て」で
協働活動の
ボランティア
団体

伊佐市ボランティアグループ「エコネット」と「図書館ボランティアおはなしミッケ」のボランティア活動を紹介します。

「エコネット」は、地域・環境・子育てを活動テーマに、11年前から活動しています。「図書館ボランティアおはなしミッケ」は、菱刈小学校の親子読書会・読み聞かせグループが「おはなしミッケ」として、図書館や校区集会施設で活動をはじめて7年目を迎えています。

2つのボランティアグループは、市立図書館（2館）と協働で活動を推進し、ブックスタートバッグによる子育て応援システムを導入し、アルミ缶の収集等による「バッグ」の無料配付、図書館まつりの協働運営など市民から高い評価を得ており、今後の活躍が期待されます。

1 身近な環境学習で、市民の善意を福祉施設へ

環境は社会の大きなテーマです。「エコネット」は、身近な生活の中で環境学習を推進するために、子育てサロンやいきいきサロン、家庭教育学級、女性団体のゴミの分別講習会で支援活動をしています。

また、会員や市民が善意で持ち寄ったアルミ缶やアルミ製品などを収集し、車椅子やシルバーカーを福祉施設に贈っています。市民の環境問題に関する学習意欲は高く、市民ぐるみの運動に広がりつつあります。



子育てサロン

2 「ブックスタートバッグ」で子育て支援

「エコネット」は、アルミ缶等の収集による「エコネット積立金」と行政からの支援で、赤ちゃん向け絵本が入っている「ブックスタートバッグ」を出産予定の方や1歳未満の乳児の保護者に無料で贈っています。

「ブックスタートバッグ」は、読書活動の推進だけでなく、地域みんなで支え合いながら、子育てを支援するシステムで市民の期待が大きく有意義な活動です。



ブックスタートバッグ

3 広がる読書ボランティアの輪

「図書館ボランティアおはなしミッケ」は、親子読書会などのグループ会員が、子どもたちに読み聞かせをしたいとスタートしました。

普段は図書館や公民館などで読み聞かせを実施し、図書館祭りの運営指導まで幅広い活動を展開しています。内容は、紙芝居、大型絵本朗読、歌にあわせた指遊び、パネルシアター、ブラックシアターなど多彩な活動です。

最近では、グループホームやデイサービスの高齢者、学校の家庭教育学級、子育て支援センターからの依頼も増え、活動の輪が広がっています。また、80歳代の会員による民話や童話も喜ばれ、世代を超えた読書ボランティアの輪が広がり、今後の活躍が期待されます。



紙芝居でおはなし



図書館まつり

◆活動についての問い合わせ先◆

伊佐市社会福祉協議会 (TEL 0995 - 26 - 4120)

〒895 - 2701 伊佐市菱刈前目 711 - 1

平成 21 年度シルバー 110 番の相談状況

▼相談件数

区分	19 年度		20 年度		21 年度	
	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)	件数	構成比 (%)
老人福祉全般	987	64.2	1,177	67.7	1,222	65.8
経済・生活	92	6.0	103	5.9	83	4.5
法律	399	26.0	383	22.0	447	24.1
健康・医療	58	3.8	75	4.3	102	5.5
いきがいづくり	4	0.0	2	0.1	3	0.1
合計	1,536	100.0	1,740	100.0	1,857	100.0

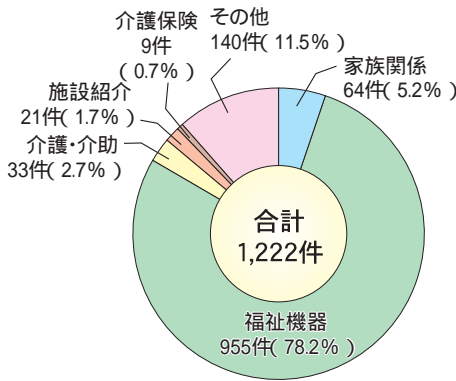
相談件数 増加続く



平成 21 年度の高齢者やその家族の方々などからの相談状況は次のとおりでした。

1 年間の相談件数は 1,857 件で前年度より 117 件増加しました。また、相談内容は多岐にわたり深刻なものが増えています。

最も相談件数の多い「老人福祉全般」の中では、在宅介護の推進に欠かせない「福祉機器」に関する相談が最も多く 955 件で約 8割を占め、「家族関係」64 件、「介護・介助」33 件となっています。



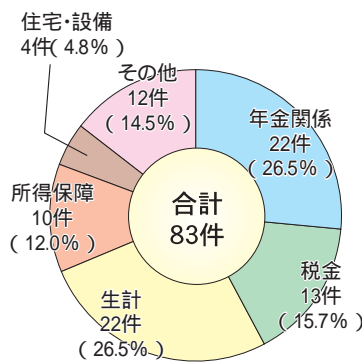
◆老人福祉全般

相談内容を項目別にみますと、「老人福祉全般」が 1,222 件で前年度同様最も多く全体の約 6割、次いで「法律」が 447 件であり、この 2 項目で全体の約 9割を占めています。

また、相談を医師・弁護士・福祉機器相談員などによる「専門相談」とその他の「一般相談」に分類しますと、「専門相談」が 1,104 件で約 6割、「一般相談」が 753 件で約 4割となっています。

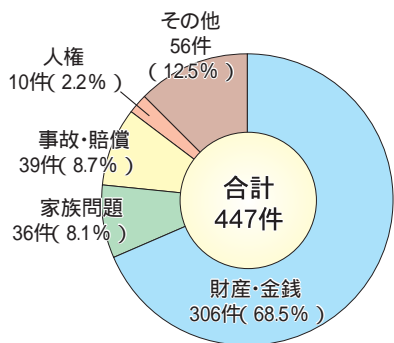
項目別相談状況

「年金関係」「生計」に関する相談がそれぞれ 22 件で最も多く、「税金」13 件、「所得保障」10 件となっています。



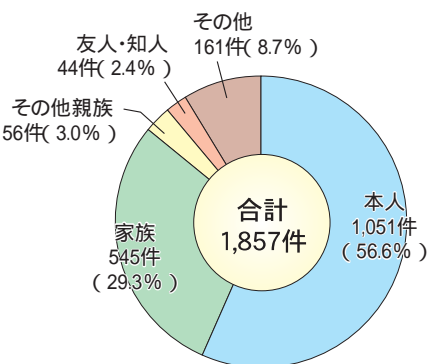
◆経済生活

相談件数が 2 番目に多い「法律」では、相続や借金整理などの「財産・金銭」に関する相談が 306 件で約 7割を占め、以下「事故・賠償」「家族問題」となっています。



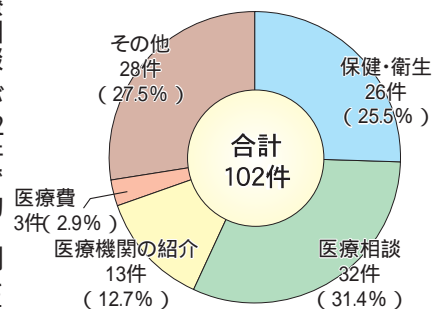
◆法律

本人からの相談が 1,051 件と半数を超え、次いで家族、その他親族で本人を含む身内からの相談が 1,857 件



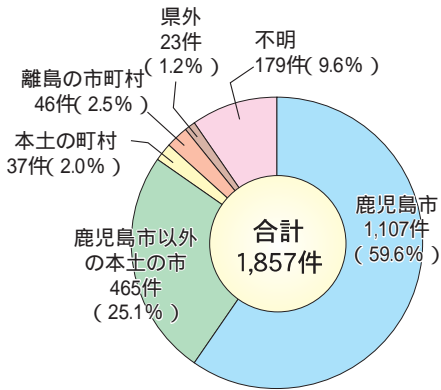
◆相談者別

「医療相談」が 32 件で約 3割を占めており、「保健・衛生」が 26 件となっています。



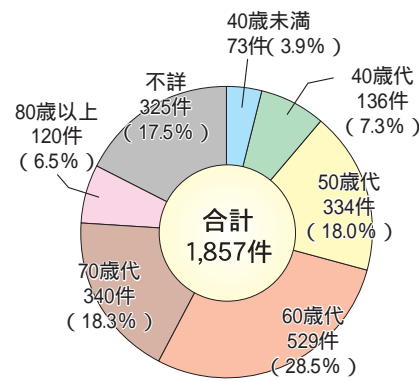
◆保健・医療

利用形態別相談状況



◆地区別

60歳代が529件で最も多く、次いで70歳代340件、50歳代334件となっています。80歳以上の方からの相談も120件ありました。



◆年齢別

談が9割強を占めています。「その他」は、市町村社協施設の職員や民生委員などです。

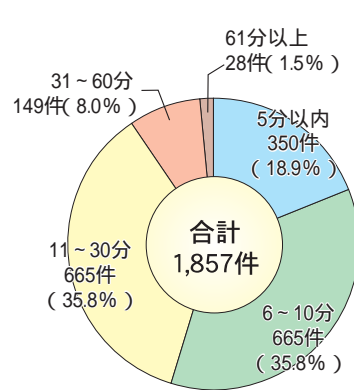
電話による相談は1,197件で64.5%、来所としての相談が46件で2.5%となっています。

◆相談方法別

男性からの相談は646件で34.8%、女性からの相談は1,211件で65.2%となっています。

◆性別

最も多いのは6～10分と11～30分のそれぞれ665件で約7割を占めています。9割は30分以内の相談でした。1時間以上の長時間の相談が28件ありました。



◆相談時間別

鹿児島市が1,107件で約6割を占めています。離島から46件、県外からも23件の相談がありました。

◆福祉施設経営相談コーナー◆

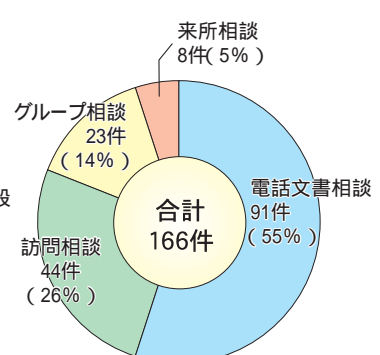
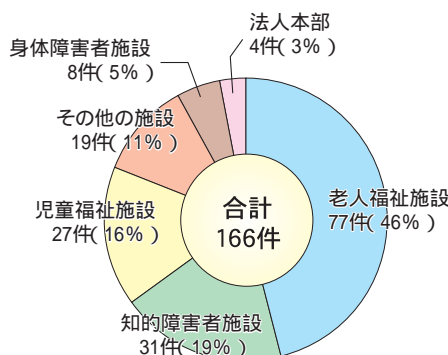
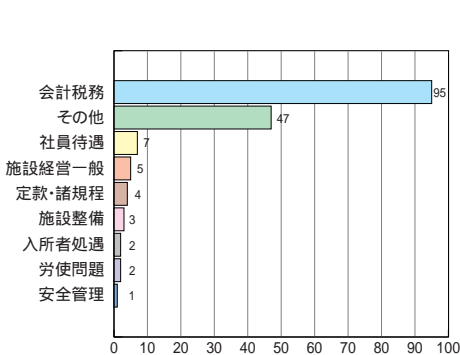
平成21年度相談実績

「福祉施設経営相談コーナー」（県社会福祉協議会）の平成21年度の相談実績は次のようになりました。年間の相談件数は166件で、前年度よりやや増となりました。

相談方法では、電話文書が91件で、次に訪問相談が44件等となっております。施設種類別相談件数は、老人福祉施設77件、知的障害者施設31件、児童福祉施設27件、身体障害者施設8件となりました。また、内容別相談件数は、会計事務が95件、職員待遇が7件、定款・諸規程4件等となり、去年と同程度の件数となりました。

相談コーナーでは、専任相談員の他、兼任相談員等を配置し、皆様のご相談をお待ちしています。秘密は厳守し、相談は無料です。

電話 099-1257-1988
FAX 099-1257-0193



第19回 シルバー文化作品展

～ねんりんピック鹿児島メモリアル事業～

作品募集のお知らせ



長寿社会推進部では、高齢者の創作による文化作品を展示し、高齢者の趣味活動や文化創作意欲を高めることにより、心身ともにすこやかなゆとりある生きがいがづくりのお役に立つように「シルバー文化作品展」を毎年開催しています。受理した作品は全て展示しますので、ふるってご応募ください。

(開催要領と出品申込書は、各市町村社会福祉協議会・教育委員会・福祉担当課等に準備してあります。)

部 門 日本画・洋画・書・工芸・写真・彫刻

資 格 県内に居住する満 60 歳以上 (昭和 26 年 4 月 1 日以前に生まれた方) のアマチュアとする。

出品点数 全部門を通じ 1 人 1 点とし、作品は出品者 (個人) が創作したもので未発表のもの

テ ー マ 自由

期 間 平成 22 年 9 月 8 日 (水) から 12 日 (日) まで

会 場 鹿児島県歴史資料センター黎明館 (第 2 特別展示室・第 3 特別展示室)

作品の搬入 平成 22 年 9 月 3 日 (金) 午前 9 時から午後 4 時まで
出品申込票と作品を黎明館搬入口に提出してください。ただし、離島などから出品する場合は、宅配便も認めますが、搬入方法、費用等については開催要領に記載してありますのでご覧ください。

出 品 料 1,000 円 (搬入当日現金で納付。宅配便利用の方は開催要領をご覧ください。)

表 彰 鹿児島県知事賞 特別賞 (寺園勝志賞) 鹿児島県社会福祉協議会長賞 (各部門ごと) ねんりんピック鹿児島メモリアル賞 審査委員長賞 入賞 (各部門ごと 金賞・銀賞・銅賞・奨励賞) 高齢者賞 (各部門ごと)
※出品作品のうち、特に優れている作品は「第 24 回全国健康福祉祭くまもと大会」に出品する。

ギャラリートーク 平成 22 年 9 月 12 日 (日) 午前 11 時から 黎明館 (第 2・第 3 特別展示室)
(各部門の審査委員による解説があります。)

表 彰 式 平成 22 年 9 月 12 日 (日) 午後 2 時から 黎明館講堂

お問い合わせ先 鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部

TEL 099 - 250 - 7441 E-mail sukosen2@kaken-shakyo.jp

“平成 22 年度 元気高齢者チャレンジ推進事業” 『高齢者を中心とした地域貢献活動団体』 を鹿児島県が募集



県では高齢者が中心になって様々な分野で地域に貢献する活動を行っている団体を募集し、表彰いたします。応募書類は、県地域振興局・支庁、市町村、市町村社会福祉協議会・老人クラブ連合会等に準備してありますので、ふるってご応募ください。

応 募 期 間 平成 22 年 5 月 14 日 (金) ～ 7 月 16 日 (金) 必着

表彰式・事例発表会 平成 22 年 10 月 28 日 (木) かごしま県民交流センター (県民ホール)

「介護サービス情報の公表」 制度を活用しましょう！！



平成 18 年度からはじまった「介護サービス情報の公表」制度は、利用者が介護サービスを選ぶための情報をインターネット等で提供する仕組みです。現在は、50 種類のサービスが公表の対象となっています。

指定情報公表センターホームページ

<http://www.kaken-shakyo.jp/kohyo/>

1

公表制度施行から4年間のアクセス件数及び公表件数の推移（鹿児島県）

平成 18 年度は **9 種類** のサービスが公表の対象となっていました。その後、平成 19 年度に **35 種類**、そして、平成 21 年度には **50 種類** となりました。公表されるサービスの種類の増加とともにアクセス件数及び公表件数ともに増加傾向となっています。

H 18 アクセス件数 12,051
公表件数 1,577

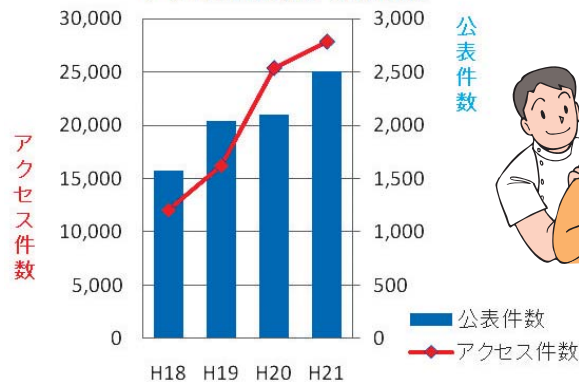
増加

アクセス件数 約 2.3 倍
公表件数 約 1.5 倍

H 21 アクセス件数 27,818
公表件数 2,503

鹿児島県介護サービス情報公表システム

アクセス件数及び公表件数



※ 4 年間で公表件数は、約 1.5 倍、アクセス件数は、約 2.3 倍の増加となっています。

2

公表される情報（基本情報・調査情報）

● 公表される情報には、「**基本情報**」と「**調査情報**」があります。

基本情報	事業所名、運営法人、所在地、連絡先、職員体制、利用料金、定員などの基本的な情報で、事業所が報告したことがそのまま公表されます。
調査情報	介護サービスに関するマニュアルの有無、サービス提供内容の記録管理の有無、職員研修のガイドラインや実績の有無など事業所が報告した情報について、調査機関の調査員が訪問調査を行い、事実確認した情報が公表されます。

3

「介護サービス情報の公表」の特徴

- 公表されている情報は、インターネットなどで閲覧できます。いつでも誰でも自由に入手できるので、ご自身で介護サービス事業所を比較検討しながら適切に選択できます。
- 公表されている情報と実際のサービスが比較できるので、利用しているサービスの妥当性をいつでも確認できます。
- 介護支援専門員や介護相談員などと同じ情報を共有できるので、利用者やその家族にとってサービス利用における相談がしやすくなります。
- 公平性、公正性を確保するため、都道府県またはその指定機関が実施主体となっています。

お問い合わせ先

鹿児島県指定情報公表センター

（社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部）

TEL 099-257-5700

FAX 099-257-5707

E-mail kohyo1@kaken-shakyo.jp



激励のことば



受講生代表

今年も県内各地から152名の受講生がなのはな館に集い開講式

ふれあいプラザ なのはな館では、明るい活力ある長寿社会づくりを目指している鹿児島県の「すこやか長寿社会運動」を推進する地域活動のリーダーを育成するため概ね60歳以上の意欲のある方を対象に「高齢者中央大学」を毎年開講しています。

平成22年度
高齢者中央大学の開講式

152名が受講



を行ないました。受講生の平均年齢は67・3歳で、最高年齢は85歳の方でした。講座は一般教養学科・保健福祉学科・生きがい創造講座（陶芸・木工・絵画・茶道）の2学科4教室が開講されています。

式では、昨年度修了生の松元徹さんが「現役を勇退された方々が意欲を持って新しいことに挑戦される姿に敬意を表したい。昨年の講座期間を振り返ると、講義の内容も多岐にわたり新しい知識を身につけ、多くの方と親睦を深めることができた六ヶ月だった。健康に留意して全員が無事に修了されることを祈念します。」と激励されました。そして、今年度茶道教室を受講される淵上正明さんが受講生を代表して「高齢者に求められる役割は、地域社会への様々な貢献である。この講座を通して、新しい知識と技術を身につけ多くの研鑽を積み地域活動の推進役となるため、全員が目標を持ち志を高く取り組んでいきたい。」と力強く決意を述べられました。

お問い合わせ先 指宿市東方 9300 番地 1 TEL0993 (27) 1221

8月～9月 介護講座のご案内

講座名	日時	内容	場所	受講料
かぞくで学ぶ ふくし体験教室	8月1日(日) 10:00～12:00	車いす体験 おじいちゃん・おばあちゃん の体験ほか	かごしま県民 交流センター	-
(一般向け) 介護地域講座	8月21日(土) 10:00～16:00	介護保険の理解 起床、移乗、排泄ケアほか	出水市社会福祉 協議会(本所)	500円
(一般向け) 介護入門講座	9月11日(土) 10:00～16:00	介護保険の理解 介護の基本、福祉用具ほか	かごしま県民 交流センター	500円
(専門職向け) 介護基礎研修	9月16日(土) 9月17日(日) 10:00～16:00	介護保険の理解 高齢者の生活・行動心理 介護予防、嚥下障害ほか	かごしま県民 交流センター	2000円
(一般向け) 介護基礎講座	9月25日(土) 10:00～16:00	排泄介助、移動・移乗介助 介護予防ほか	かごしま県民 交流センター	500円

*申込み方法等の詳しいことについては、鹿児島県介護実習・普及センターへお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

鹿児島県介護実習・普及センター

(運営：社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会)

〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号(かごしま県民交流センター内)

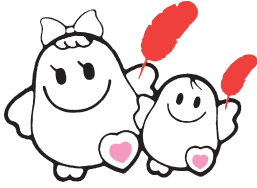
TEL 099-221-6616 FAX 099-239-0384

E-mail kaigo@kagoshima-pac.jp

URL http://www.kagoshima-pac.jp

県共同募金会からのお知らせ

地域の福祉、みんなで参加



☎ 099 (257) 3750

URL <http://www.minc.ne.jp/akaihan>

赤い羽根共同募金に感謝しています

これまでに共同募金の配分を受けた施設・団体・町内会等から寄せられた

「ありがとうメッセージ」の一部を紹介します。

「おいしい焼き芋づくり」

NPO法人きぼう館種子島
(西之表市)

きぼう館種子島では、通所生の自立支援のため菓子や肥料などを作り販売しています。今回、畑を借りて、特産のさつまいも作りに挑戦することになりました。いただいた共同募金の配分金で、それを焼き芋にするための焼き芋製造機を購入しました。自分たちで植え付け、収穫した種子島特産の安納芋で、おいしい焼き芋を作り、地域のイベントはもとより、県内の各作業所とも連携しながら販路を広げていきたいと思っております。ありがとうございました。



「巡回パトロール用品購入」

二月田地区自治公民館
(指宿市)

二月田地区は、指宿市内でも人や車が多く行き交い、事件・事故等が起こりやすい地域です。地区内の子どもたちを守るため、平成18年に「地域の子どもは地域で守る」を合い言葉に自主防犯組織「子ども見守り隊」を発足し、巡回パトロールを行っています。今回購入した車用ステッカーや腕章等は、地域防犯意識の向上を図り、地域の子どもたちを事件・事故から守るためのパトロールで有効に活用させていただきます。皆様の善意に心から感謝申し上げます。



「堆肥置き場屋根設置」

知的障害児施設希望の星学園
(龍郷町)

当園では、成人利用者の作業の一環として除草作業を行い、それを堆肥にして畑での野菜作り等に利用しています。堆肥置き場に屋根がないため雨天時の作業に支障をきたしていました。今回、共同募金からの助成を受け、堆肥置き場に屋根を設置することができ、安全に効率よく作業ができるようになりました。たいへん感謝しております。近隣の農家の方からも「いい堆肥ができるよ。」と励ましの声をいただき、利用者の草を運ぶ手にも力がいっています。今後、利用者とともにたくさんさんの花や野菜作りに活用していきたいと思っております。



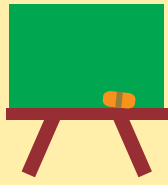
「情報交換のためのパソコン購入」

日本ALS協会鹿児島県支部
(鹿児島市)

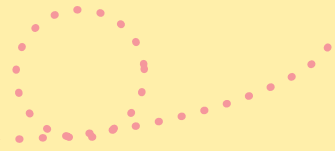
ALS（筋萎縮性側索硬化症）とは、運動神経が冒されて全身の筋肉が萎縮していく難病です。家族は、24時間365日介護に追われ、多くの方々の力を借りながら生活しています。

当協会では、介護に追われる家族のためにヘルパーが吸引できるよう講習会を実施したり、意思伝達が困難な患者とのコミュニケーションサポート講習会を実施したりしています。患者や家族と専門職をつないで行っている相談活動をより充実したものにすするため、今回パソコン等を整備し、メールによる相談や情報交換ができるようになりました。これからも、より良い療養・介護環境を築けるよう、患者や家族のために情報提供できる支部作りをめざしていきたいと思っております。





インフォメーション Information



みなさまのご厚意に感謝いたします。

次の方がたから、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。ありがとうございました。
(平成22年4月～平成22年6月)

○日本ガス株式会社 様 ○(故)牧 哲也 様 ○ガイドードリンコ株式会社 広域流通営業部 様 ○(故)勝 良忠 様



同窓会の解散に伴う残余財産を寄付される、昭和18年卒第29期生代表の徳田様(左から二人目)、会長の林様(中央)、新原様(右から二人目)

○旧鹿児島県立第二高等女学校同窓生 様



「子育て支援団体に対する助成金授与式」
受賞団体：鹿屋市
「ミクキッズ」
鹿児島県生命保険協会会長 益田 聡 様と子育てサロン参加者の皆様

○鹿児島県生命保険協会 様

「小さな親切」運動 会員募集

入会お問合わせ先

「小さな親切」運動鹿児島県本部 TEL099-257-3848

「小さな親切」運動は、「出来る親切はみんなでしよう それが社会の習慣になるように」をスローガンに、地域に埋もれた親切さんを顕彰(「小さな親切」実行章の贈呈)したり、その他、子どもたちの豊かな心の成長につながるいろいろな運動をしています。この「小さな親切」運動は会員組織による会費で運営され、誰(個人・団体)でも会員となり運営・活動に参加することができます。1人でも多くの方が会員としてご支援くださるようお願いいたします。

- 個人会員 2,000円以上
- 団体会員 大人1人600円 子ども1人300円
- 賛助会員 5,000円以上



個人実行章賞状

社会福祉施設 しせつの損害補償

ホームページでも内容を紹介しています。
<http://www.fukushihoken.co.jp>

社会福祉施設のさまざまなリスクに対応するために!

プラン1 施設業務のための補償

- (賠償責任保険、傷害保険、動産総合保険)
- ① 基本補償
 - 基本補償(A)は、法人業務中、法律上の賠償責任が発生した場合、包括的に補償
 - 見舞費用付補償(B)は、賠償責任のない場合の見舞金が充実
 - オプション1 訪問・相談等サービス補償
 - オプション2 施設の医療事故補償
 - ② 個人情報漏えい対応補償
 - 個人情報漏えいによる法律上の賠償責任を負った場合(おそれのある場合を含みます)に補償
 - ③ 施設の什器・備品損害補償
 - 施設内の什器・備品を幅広い範囲で補償
 - 施設の現金等も補償



プラン2 施設利用者のための補償

- (傷害保険)
- ① 入所型施設利用者の傷害事故補償
 - ② 通所型施設利用者の傷害事故補償
 - ③ 施設送迎車搭乗中の傷害事故補償

プラン3 施設職員のための補償

- (労働災害総合保険、傷害保険、約定履行費用保険)
- ① 施設の労災上乗せ補償
 - ② 施設職員の傷害事故補償
 - ③ 施設職員の感染症罹患事故補償

◆加入対象は、社会福祉法人等で運営している社会福祉施設です。

- 全国社会福祉協議会のスケールメリットを活かし、充実した補償内容
- 団体契約のため有利な補償と割安な保険料(掛金)
- 迅速で丁寧かつ適正なお支払い

●この保険は全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約(「賠償責任保険」「傷害保険」「労働災害総合保険」「約定履行費用保険」「動産総合保険」)です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問合せは下記にお願いします。

社会福祉法人
全国社会福祉協議会
〈引受幹事保険会社〉株式会社 損害保険ジャパン

取扱代理店
株式会社 **福祉保険サービス**
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

〈SJ09-08937,2010/02/19〉

広報紙「ふくしのひろば」は
本会のホームページでもご覧になれます。
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779
E-mail soumu4@kaken-shakyo.jp
★この広報紙は、共同募金会の協力を得て発行されています。